

次 号 論 文 予 告
宗教的象徴の本質と作用…………… ウインストン、 L・キング 武内 義 範 記
ハイデッガーに於ける世界の問題 (未完)……………辻 村 公 一
ヘーゲル精神現象学に於ける 自意識の研究序説(一)……………稲 葉 稔

前 号 目 次
自由・運命・摂理……………島 芳 夫
マックス・ウェーバーにおける 東洋哲学の社会学的考察(一)……………向 井 守
科学的認識をめぐる合理論と 経験論の対立と交錯……………野 本 和 幸 ——その現代理論哲学における意味——

彙報・報告

一、京都哲学会公開講演会記事 昭和四十三年十一月二日午後一時半より定例の京都哲学会公開講演会が(京都大学教授)山田晶氏(無からの創造——その解釈と意義——)、(京都大学助教授)梶山雄一氏(仏教に於ける瞑想と哲学)を講師に迎えて法経第七講義室で開催された。引き続きいて楽友会館に於ける懇親会が講演内容の一つに関して鋭い質問と穏かな応答との歓談逍遙裡に行なわれた。尚近々本誌上に両講演は発表される予定である。

一、西田幾多郎博士記念講演会記事 昭和四十三年十一月十六日午後一時半より文学部第一講義室に於て(奈良教育大学教授)阿部正雄氏「西田哲学に於ける場所の思想について」、(学士院会員・大手前女子大学教授)三宅剛一氏(「西田哲学に於ける『作るもの』と『人格』」)を講師に迎えて寸心会定例の西田幾多郎博士記念講演会が開催された。講演後三高会館にて懇親会が八時すぎ迄行なわれた。

一、今回行なわれました日本學術會議第八期會員選挙にあたり、本会より推薦いたしました本会委員(京都大学文学部長)井島勉氏は近畿地方区から当選されましたので報告いたします。